

3月15日

○宮城県建設青年会から連絡が入りました

1) 東北被災各県の広範囲で、ガソリン不足が危機的になりつつある。
早く手当が必要。2次災害対応、救援、復興すべてに支障が出ている。

2) 仙台製油所の火災が危険な状況を脱していない。

3) 公共工事の年度末の支払い検査への緊急措置が必要

完成寸前で津波に流された施設や、地震で損傷した施設などが多数ある東北地震で損傷した工事への支払い措置を検討していただきたい。

(復旧工事で多忙になった上、検査や査定そのものが難しい工事が多い)

多くの建設会社が、年度末の支払いを抱え、資金繰りに困ることが想定できる。

○岩手県建設業協会 久慈支部 0194-53-4897 田中さん(東京の中野さん経由)から連絡が入りました。

1) 石油備蓄タンクが破損した。

2) 久慈の建設業協会の方々の安全は確認できた

3) 久慈支部の建設業は、沿岸部に救援に向かいたいが、防塵マスクなどが入手できずに困っている。何とか手配してもらえないだろうか。

○防衛省 統合幕僚監部運用部に対して、久慈の自衛隊ヘリによる物資輸送の要望を伝達し、対応をお願いしました

なお、防塵マスクはレンタルのニッケン様をお願いして、手配しました。

○年度末の支払い検査への緊急措置については、国土交通省の建設流通審議官、建設市場整備課、技術調査課に、伝達しました。

米田雅子